

ふじみ野市下水道事業経営戦略（案）に関する意見等の募集結果について

■提出期間

令和6年1月10日 ～令和6年2月8日

■意見の募集結果

提出者数1名 提出件数9件

■意見提出方法の内訳

郵便 0件

ファクシミリ 0件

電子メール 9件

直接書面による提出 0件

■担当課

上下水道課

■意見の概要と市の考え方

意見の概要	市の考え方（修正がある場合は修正内容）	修正
<p>P.10 ①基本情報 表2-1内「区域人口」について、「行政人口」に修正。</p>	<p>総務省が実施する決算状況調査に合わせ、「行政区域内人口」といたします。</p>	<p>あり</p>
<p>P.11 汚水処理事業 市内4地点のマンホールポンプについて、位置、能力、設置年月日等を記載すべき。</p>	<p>一覧表を追加いたします。</p>	<p>あり</p>
<p>P.12 ③雨水排水対策事業 雨水ポンプ場の概要を記すべき。</p>	<p>一覧表を追加いたします。</p>	<p>あり</p>
<p>P.17 主要な下水道施設 「ふじみ野市公共下水道事業計画」の添付があるが、小さく読み取れないため、A3版で折り込むのはいかがでしょうか。</p>	<p>「ふじみ野市公共下水道事業計画」につきましては、A3版での折り込みといたします。</p>	<p>あり</p>
<p>P.22 3.これまでの取り組み（1）施設 ストックマネジメント、アセットマネジメントの用語が記載されているが、この内容がどこの部分に反映されているか不明確である。具体的にその部分を抜粋して記載すべきではないか。 下水道事業経営はストックマネジメント及びアセットマネジメントが基本となるものであるため、この検討書にそれらの結果を記述すべき。</p>	<p>ストックマネジメント計画は本計画に紐づくものではありませんが、下水道事業の中長期的な経営（財政面）の基本方針を示す本計画では、施設・整備の合理的な投資を見通し、精度の高い投資試算の把握が必要となるため、インプット材料としてストックマネジメント計画で整理した数値を活用しているものであることから、本計画にはストックマネジメント計画の結果を示していません。 なお、ストックマネジメント計画に基づく施策及び目標値につきましては、第5章（1）「快適な生活環境の実現」において示しております。</p>	<p>なし</p>

<p>P.22 3.これまでの取り組み(1)施設 汚水管路の総延長の記載がない。(口径別)</p>	<p>管路の総延長につきましては、第3章 3.「下水道事業を取り巻く内部環境」(1)「施設の課題」において、令和4年度末時点約286kmである旨追記いたします。</p> <p>なお、口径別の管路延長等、詳細の記載につきましては、中長期的な経営(財政面)の基本方針を定める本計画では必要としていないため、記載しておりません。</p>	<p>あり</p>
<p>P.22 3.これまでの取り組み(1)施設 「市内を19ブロックに分け7ブロックの主要幹線…」と記載があるが、図面を添付すべき。</p>	<p>「ブロック」という表現が適切ではございませんでしたので、本文を「市内の管路総延長を対象として、重要度や布設年度に基づいて優先順位を付け、順次点検調査を実施しています。」と修正することといたします。</p> <p>また、本文を修正したことから、詳細図面の添付につきましては不要と判断いたしました。</p>	<p>あり</p>
<p>P.83 投資計画(2) 物価上昇は見込んでいないとの記載があるが、建設デフレーターを考慮すべき。 (3)として、新たに更新投資の事項を追加した方が良い。 本市では標準耐用年数に達した管渠は少ないと思われるが、供用開始当初の資産が耐用年数を迎え、将来的には多額の更新投資が必要となるため、この点を踏まえて事業計画を作成すべき。</p>	<p>現在公表されている建設デフレーターは大幅な増加をしておりますが、今後も同水準での増加となるかは不透明なため、過大な見積りをしないように令和4年度の物価水準で投資計画を策定しております。また、経営戦略は5年を目途に改定するため、物価が変動した場合には改定時の投資計画に反映することといたします。</p> <p>なお、令和15年度までの10年間の更新投資に係る費用につきましては、(2)の投資計画に含んでおります。</p>	<p>なし</p>
<p>P.1~94 貼り付けの表、グラフが一般市民にとって非常に読み取りにくい ため、今後このような機会があるならば配慮をお願いしたい。</p>	<p>貴重なご意見として承ります。</p>	<p>—</p>